

平成29年度 小中高PTA・ 校長会連絡協議会 の開催予定

この協議会は小・中・高の連携協力を図る趣旨から企画され、今年度は県P連が主管担当です。8月4日(金)に山口県教育会館において開催する予定でしたが、他の協議会等との重なりが生じ12月1日(金)に開催することとなりました。

協議及び情報交換では「小中高PTA連携の成果と課題について」について、特に「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」等の取組について意見交換を図りたいと考えています。

今後も小学校PTAと中学校PTAおよび高校PTAの縦の連携強化を図ることが一層重要になってくるということ、学校・家庭・地域の連携、協働の取組をさらに充実・活性化させていくことを確認することができると有意義な会となるよう取り組んでいきます。

学校紹介

山口県立下関工業高等学校・下関工科高等学校 PTA会長 岡山裕治

はじめに

平成28年4月に県立

下関中央工業高等学校と県立下関工業高等学校が統合し、県立下関工科高等学校が開校しました。下関中央工業高等学校は、明治43年3月に市立下関実業補習学校として開校し、歴史を積み重ね、平成22年10月に創立百周年記念式典が挙行されました。下関工業高等学校は昭和14年4月に下関工業学校として開校し、平成元年に50周年を迎え、現在創立79年です。校訓は、責任・協力・能率で、

自主自立の精神を養い、キャリア教育の実践により産業を支える人材を多く送り出してきました。現在学校は、下関工業高

校の3年生と下関工科高校の1・2年生が同じ場所で教育活動を行っています。

伝統の行事としては、歓迎登山(竜王山)や送別マラソンなどがあり、卒業生の良き思い出となっています。また、長年に渡る安岡海水浴場周辺の海岸の清掃奉仕活動が認められ、平成29年7月25日(火)に、亀山八幡宮儀式殿にて「第22回下関海の日記念表彰式」で国土交通省九州地方整備局長表彰状をいただきました。これからも続けてもらいたいと考えています。



下関工科高等学校 開校式



第22回 下関海の日記念表彰式

めざす学校像

新しい工科高校の校訓は至誠・探求・創造です。機械工学科(機械コース・造船コース)、電気工学科(電気コース・電子コース)、建設工学科(建築コース・土木コース)、応用化学工学科、定時制機械科を有する、県内としては最大規模の工業高校となることから、下関市内のみならず広く県内に至るまで新たな時代のものづくり産業を支えるポテンシャルティを持った工業人の育成をめざします。

また、各方面で活躍されておられる多くの下関中央工業高校と下関工業高校の卒業生のみなさんの伝統を引き継ぎ、ものづくりへの積極的・主体的な取組を教育の柱として実践し、卒業後はあらゆる現場で戦力となり、信頼される人材、さらには、基本的な生活習慣、基礎学力、資格取得など社会人基礎力を身につけ、職場のリーダーとなる人材の育成をめざしています。

PTAとして

本校のPTA活動は、会長1名・副会長2名・監査2名・会計2名・幹事4名・顧問2名の役員13名を中心に現在、下関工業高校と下関工科高校の2校合同体制で行っております。

年間の主な活動は、5月・6月にPTA参加の企業研修会、8月・9月に就職希望者を対象にPTA参加型模擬面接指導、10月は体育大会におけるジュース・お茶の販売、同10月には日帰りの研修旅行を企画、11月は文化祭における活用品バザー及び飲み物・おにぎりなどといった商品の販売を行っております。



文化祭でのバザー (H28年度)



体育大会での飲み物販売 (H28年度)



高P連中四国大会山口大会 (H29年度)

特に、2回にわたるPTA参加型模擬面接指導については、実施されておられる学校が少ないとお話も伺っており、本校の自慢できるPTA活動の一つではなかるうかと思っております。子供達も本番さながらの緊張感で取り組んでいるところです。

また本年度は、7月14日に下関市の海峡メッセで開催されました第59回中国・四国地区高等学校PTA連合大会山口大会において、事前準備を含め本校PTA持ち味の結束力で、県内他校役員の方々と会場を盛り上げたところです。



PTAによる面接練習 (H29年度)

さて、平成30年度子供達を本校に迎えて下関工科高校は全学年揃うこととなり、生徒数も約700名となり、山口県下で最大の工業高校に生まれ変わろうとしております。来年度に向けての継承期の中、子供達が安心して勉強・部活動に取り組めるよう、『全ては子供達のために！』を合言葉に先生・PTA役員・保護者・地域の皆様と一丸となって子供達をしっかり支えていきたいと思っております。

